



unicef | for every child

(公財)日本ユニセフ協会協定地域組織／
岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 岐阜県各務原市鵜沼各務原町1-4-1
生活協同組合コープぎふ1階
☎ 058-379-1781 Fax 058-379-1782
E-mail: gifuken@unicef-gifu.jp
https://unicef-gifu.jp/



世界中の日常が激変した2020年 ユニセフの目指すことは変わりません。 最も厳しい状況にいる子どもたちを守り抜きます。

2020年、新型コロナウイルスが世界中を襲い、社会活動が停滞する中、ユニセフはこれまでの歩みを後退させないよう、総力をあげて取り組みました。30億人以上の人々に感染予防のメッセージを届け、7,370万人に感染予防のため手洗い用品を支援しました。

学校が休校の間、学習が継続されるよう2億6,120万人以上の子どもたちに遠隔教育(オンライン/オフライン)の機会を提供しました。



ユニセフ支援により学校に設置された手洗い場で手を洗う生徒たち
(インド・2020年12月1日撮影)

紛争や自然災害など緊急事態発生の際、子どもたちのために活動を迅速に行うための緊急募金へ2020年も多くの募金が寄せられました。

単位:円

日本ユニセフ協会 2020年度 緊急募金入金額	新型コロナウイルス	1,604,028,878
	ロヒンギャ難民	26,711,053
	アフリカ栄養危機	29,198,143
	シリア	369,232,040
	自然災害	6,355,030
	人道危機	72,483,709
	合計	2,108,008,853

新型コロナウイルスは以前から紛争や災害に苦しんでいる地域にも大きな影響を落としています。紛争開始から10年を経たシリアでは今も、国内で少なくとも470万人の子どもたちが人道支援を必要としています。イエメンでは、10分間に1人の子どもが予防可能な病気で命を落としています。200万人が学校に通えていません。



北東部アルホル難民キャンプにあるユニセフが支援する学習センターで授業を受ける子どもたち(シリア・2020年12月撮影)



@UNICEF/UNI356240/Baz/AFP

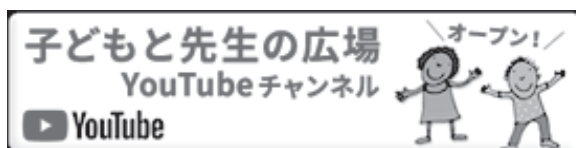
レバノンの首都ベイルートで大規模爆発が起き、8万人の子どもたちが避難を余儀なくされた。被害を受けたベイルートの町から避難する人たち
(レバノン・2020年8月6日撮影)



@UNICEF/UN0403959/Franco

サイクロン「エロイズ」がモザンビーク中部を襲い、17万6千人以上の人々が被害を受ける。豪雨により水かさが増した村の中に立つ子ども
(モザンビーク・2021年1月22日撮影)

日本ユニセフ協会のホームページに、これまで作成したDVD・YouTube動画をまとめて視聴できる「子どもと先生の広場YouTubeチャンネル」が開設されました。ぜひご覧ください。



日本ユニセフ協会



2020年度 活動の記録〈2020年1月～12月〉

- 【啓発活動】 出前授業・学習会 8回(オンライン2回)受講者数354人
 【広報活動】 パネル展・ポスター展 10回
 【映画上映会】 1回
 【募金活動】 募金を伴うイベントへの参加 2回
 【学習・交流会】 7回(オンライン3回)参加延べ人数59人
 【賛助会員】 団体会員 9団体 9口
 一般会員 166人 180口
 学生会員 1人 1口
 【登録ボランティア】 31人
 活動に参加したボランティア延べ人数 50人
 【県コードK1-210でお預かりした募金金額】
 通常募金 3,144,638円
 新型コロナウイルス緊急募金 120,000円
 アフリカ栄養危機緊急募金 15,000円
 シリア難民緊急募金 10,000円
 【会議】 役員会(評議員会・理事会) 1月21日・7月21日
 運営委員会 1月9日・7月2日
 実行委員会 3回(オンライン2回)
 スタッフ会議 12回

岐阜市ハートフルスクエアG(JR岐阜駅東)2階にてユニセフポスター展示を行いました。

1回目 10月19日～30日

「ユニセフの緊急支援募金」

2回目 12月15日～26日

「新型コロナウイルス禍の子どもたちとユニセフの支援」



11月25日～30日

ぎふメディアコスモス・みんなのギャラリーで「2020ユニセフパネル展」を開催しました。



お知らせ 2021ユニセフパネル展&支援物資展示

- ◆期間 6月14日(月)～21日(月)9:00～21:00
 但し14日は13時から開催 21日は12時で終了
 ◆会場 ぎふメディアコスモス「みんなのギャラリー」



— 昨年の展示の様子 —



@2019/6/6/0226

【パネル】 長谷部誠大使 ロヒンギャ難民キャンプ訪問 ～未来を切り拓くために～

ミャンマーで長年にわたる差別と迫害から逃れてきた、イスラム系少数民族ロヒンギャの人々。バングラデシュ難民キャンプでの生活は、この8月で4年を過ぎようとしています。長谷部大使の訪問を通じて、日本でも忘れかけているこの世界最大級の人道支援への関心を改めて呼びかけ、支援の輪を広げます。

- ◆その他パネル 言葉より多くを語るもの ～ロヒンギャ難民の子どもたちを癒す「心のケア」～
 アグネス・チャンアジア大使ニジェール訪問 砂漠をわたる子どもたち
 ～開発から取り残された国ニジェール

設立10周年記念式典/講演会「ウガンダで見つけた!私のすすむ道」

- ◆日時 6月19日(土)13:30～15:30
 ◆会場 ぎふメディアコスモス「みんなのホール」 ◆参加費 無料
 ◆参加申込先 岐阜県ユニセフ協会事務局 電話058-379-1781

講師紹介 澤井隆彰さん 2015年から2年間ウガンダで青年海外協力隊として活動。井戸の修理を目的に派遣されたが、現場の状況に即して、村人たちの生活向上の支援、衛生教育の普及など幅広い活動を行った。現地の人々との交流と経験を活かし、現在は岐阜市内で主に若者の人材育成コンサルタントとして活動。



澤井氏提供

世界の子どもたちのことを知り、自分にできることを考えるユニセフの出前授業

☆こんなことを学んでいます。

厳しい状況下にいる世界の子どもたちのことを知ろう

1日8時間かけて水くみをしている子どもたちのこと、学校に行かずに労働を強いられている子どもたちのこと。



©UNICEF/UNI123153/Khan

ユニセフ活動のよりどころ「子どもの権利条約」

子どもにも権利があるんだ！

生きる権利

育つ権利

守られる権利

参加する権利

学校に行き勉強することも権利だよ。



© UNICEF/UN073959/
Clarke for UNOCHA

でも、小学校に通えない子どもは世界に5,900万人。半数は紛争の影響下。

ユニセフはすべての子どもの権利の実現を目指して活動しています。



三崎小学校で支援物資プランピーナッツの説明をしています。



ユニセフの支援活動

ユニセフは世界150以上の国と地域でその国や政府の人々と協力して活動をしています。現地の人々が自分たちの力で子どもたちを守ることが出来るよう「自立」と「予防」の活動に力を入れています。

わたしたちにできることは？

SDGsの目標を達成するために自分たちができることを考えます。大切なのは、「知る」「考える」「行動する」こと。

☆児童、生徒から感想が届きました。

この前はユニセフのことをいろいろ教えてくれてありがとうございました。ぼくは世界のこまっている人などの話を聞いて少しでも世の中の役に立ちたいと思いました。その人たちを救うには、少しでもみんなにそのことを知ってもらえればいいと思いました。みんながそのことをちゃんと知ったらボランティア活動や募金が増えると思ったからです。このようなことをして世界を救ってみんなが安心して暮らせる世界にしたいです。

(岩倉市立曾野小学校6年生)

私はあまり外国の人に興味がなかったけれど、ユニセフのことをいっぱい知って外国の人にも興味が出てきました。あと、募金は何のためにやっているのかなと思っていましたが、募金をやることで助かる人がいることが知れてよかったです。

(岩倉市立曾野小学校6年生)

私は、子どもの権利条約があることを知らなかったのでもちろん勉強になりました。私たちが普通だと思っていることも本当は違って、子どもたちが本当にかくさんの人たちに守られていることを知りました。

私は、池や川の水をそのまま飲まなければいけない環境にいる人が、1億4,400万人いることを知ったので、その人達がどうしたらきれいな水を飲むことが出来るようになるか考えていこうと思いました。

(岡崎市立河合中学2年生)

☆11月から2021年3月までの出前授業

11月18日	豊明市立三崎小学校6年生
11月28日	聖マリア女学院高校1年生
12月10日	岐阜県立益田清風高校インターアクト部
12月21日	滋賀県立虎姫高校1年生(オンライン)
1月28日	岡崎市立河合中学校1年生(オンライン)
2月2日	知立市立知立南中学校2年生(オンライン)
3月11日	川辺町立川辺北小学校6年生



河合中学校との
オンライン授業

出前授業の講師

ボランティアを募集しています



世界中の子どもたちが笑顔になることを願って

- ①まずは、岐阜県ユニセフ協会事務局にご連絡ください。電話058-379-1781
- ②ユニセフボランティアの活動内容や岐阜県ユニセフ協会についてご説明します。
- ③学習会や交流会に参加しながらユニセフについて学んでもらいます。

出前授業の講師 のほかにも

イベントや街頭での募金活動・学習会・講演会の開催

機関誌・事務局ニュースの作成 HP作成・事務所での事務作業 など

いろいろなボランティア活動があります。

- ④自分にできることでボランティア活動に参加します。

「できることを できるときに できる方法で」

岐阜で活躍するユニセフのなかま紹介 内堀醸造株式会社

**酢造りは酒造りから そして酢造りに欠かせないきれいな水・
清い空気・そこに育つ微生物と共に未来につなげます。**

加茂郡八百津町に明治9年(1876年)に創業された老舗のお酢のメーカーです。

酢造りに欠かせない澄んだ空気と清らかな水。本社工場のある岐阜県八百津町やアルプス工場のある長野県飯島町もまた、工場を囲む自然が酢造りに欠かせない良質な空気や水を生み出し、そんな恵まれた環境のなかで酢造りを行っています。

また、「酢」という漢字は酒から作ると書くように、良い酢造りは良い酒造りから始まると私たちは考えています。原材料や醸造技術など、内堀醸造は、日本の伝統的な醸造文化を背景に「酢造りは酒造りから」を理念に掲げ、お客様の食生活に貢献できるよう、高品質な商品を安定的にお届けしていきます。

米酢や黒酢などからぼん酢やすし酢などの調味酢まで、酢の専門メーカーだからこそできる幅広い種類の酢を製造しています。ぜひ一度、毎日の食卓に内堀醸造の酢を取り入れてみてください!



本社社屋の1階には、気持ちの良い採光と清潔感溢れた社員食堂があります。ここでは月1回ペースで自社酢ドレッシングと新鮮野菜のサラダバイキングが開催され、社員の楽しみの場になっています。(現在は感染防止対策のため休止)

食堂の入り口には「ユニセフ募金箱」が設置され、いつでも気軽に募金ができるようになっています。



加茂郡八百津町 本社工場



長野県飯島町 アルプス工場

内堀醸造(株)

岐阜県加茂郡八百津町伊岐津志437-1
TEL:0574-43-1185
HP:www.uchibori.com/

お酢を使ったおいしいレシピも満載。



お酢を使ったおすすめレシピ

【ハニー&レモンビネガールのチーズトースト】

はちみつのかささとレモンビネガールのさっぱりとした酸味が
合わさりおいしさ倍増。

作り方 食パンにチーズをのせてオーブントースターで焼き、
レモンビネガルとはちみつをかけて出来上がり。



材料
(1人分)

- ・食パン 1枚
- ・とろけるチーズ 適量
- ・はちみつ 適量
- ・レモンビネガル 適量



知ってほしい ユニセフのこと 世界の子どものこと



岐阜県ユニセフ協会事務所では、「見て 触れて 考える」
ユニセフ展示コーナーを新設しました。お気軽に覗いてみてください。

お気軽にお立ちよりください!

ユニセフ視聴覚ライブラリーの貸出し ユニセフの各種資料を取り揃えています。

岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 岐阜県各務原市鷺沼各務原町1-4-1
生活協同組合コープぎふ 1 階
☎ 058-379-1781 E-mail: gifuken@unicef-gifu.jp

★交通★
JR高山線
各務ヶ原下車(普通のみ停車)西へ徒歩8分
名鉄犬山線
名電各務原駅下車(急行停車)西へ徒歩8分

